

○「愛岐やくだち隊」の活動

- ・地域の環境整備を行うため「愛岐やくだち隊」が平成29年7月13日に結成された。結成時登録会員25名。
- ・「木工、塗装、草刈りなど、自治会の要請に応じて、できることは何でもやります」と、親切、丁寧、スピーディーをモットーに活動している。
- ・公園の防猫ネットの設置、ベンチ補修、空き地の草刈り、防草シート張り、看板の修復等に汗を流して頑張っている。
(平成30年5月12日現在 登録会員35名)



公園砂場の防猫ネット支柱補強等の様子

○災害対策への取組み

- ・防災防犯委員会が中心となって、避難訓練（年1回）、消防訓練（年2回）、炊き出し訓練（年1回）を毎年行い、災害時の対応を学んでいる。
- ・災害時任務表や災害時組長チェックシート、災害時避難者名簿を作成し、各自の任務を明確にするなど地域の防災力向上に努めている。

○夏まつり、秋のイベントの開催

- ・夏まつりは、平成30年度で38回を数える歴史あるまつりである。平成29年度には、5丁目公園に盆踊り用やぐらが生まれ盆踊りの輪が広がった。また、各サークルのグルメ店、子どもホールインワンゲーム、王様じゃんけん、消防団と遊ぼう、「阿波おどり」公演など子どもからお年寄りまで誰もが楽しめる催しがいっぱい多くの人で賑わった。
- ・愛岐ヶ丘で生まれ育ち、今は別のところで暮らす息子さん娘さん家族も帰省され、子どもたちの楽しそうな声に交じって、うれしそうに参加されている高齢者の方々の笑顔が印象的で、久しぶりの世代間交流に、たくさんの思い出が育まれる機会である。
- ・平成29年度の秋のイベントでは、友和会、手編みサークル、木彫りサークル、花友達同好会、中学生グループ、ひなの会等による作品の展示販売や野菜作り名人による穫れたて野菜の販売、バザーが行われた。また、皆で持ち寄った材料で、すいとんを作り（350食）災害時炊き出し試食会が行われた。



夏まつりに集まる住民の様子

今後の展望

- ・若い人たちにどんな方法でもよいから、地域活動に参加してもらえるような方策を考えていきたい。
- ・後継者の育成のため、働いていても自治会活動に参加できるような活動のあり方を考えていきたい。
- ・生まれ育った愛岐ヶ丘を離れ、他の地域で生活している方々、空き地・空き家の所有者の方にも自治会の活動を伝え、身近に感じてもらえるよう平成30年7月に開設したホームページにより情報発信していきたい。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

～地域の課題解決応援事業を活用してみませんか～

<活用例>

愛岐ヶ丘自治会では、災害に対して地域皆の自助・共助により災害から身を守る方策を学び、防災意識の向上を図るため平成30年6月24日に防災研修会を開催し、119名の方が参加されました。

当センターでは、防災士、災害ボランティアコーディネーター、清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーターである西田重成氏を講師として派遣しました。

西田防災士からは、

「迫り来る巨大地震を乗り越える「自助・共助」その時あなたは何をしますか？」と題して講演がありました。

参加者からは、質問も出され、災害に向けた対策の重要性を共通認識し、地域ぐるみの具体的防災活動につながっていく契機となりました。



講演の様子

○地域の課題解決応援事業とは

自治会・まちづくり協議会など地域住民主体の団体を対象に、地域が抱える課題（防災、子育て支援、防犯、認知症など）の解決につながるヒントを提供する専門家をアドバイザーとして派遣したり、地域住民の間で課題を洗い出し共有するワークショップを行う場合のファシリテーターを派遣するなど、要望に応じて課題解決の応援をします。

詳しくはホームページ検索サイトで、[地域の課題解決応援事業](#) [検索](#)